

- 主体的・対話的な視点からの授業改善
- SWPBS の導入による学習指導の充実

学力向上推進員

校長

【小中連携または中高連携における共通の取組】

表現力を高めるために、学習のまとめや自分の考えを書く時間を確保する。

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業観察や教員との対話や報告等、あらゆる機会を捉え、取組状況と児童の変容等の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○与えられた課題にまじめに取り組み、基礎的・基本的な知識・技能が身に付いてきている。</p> <p>●語彙が少なく、長い文章を読み取る力・聞き取る力、自分の考えを話す力・書く力が十分ではない。</p>	<p>・学習の過程を通して習得した基礎的・基本的な知識・技能を他の学習の場面で活用することができる。</p> <p>・話や文章の要旨や問いの意図を捉えることができる。</p> <p>・自分の考えをまとめて書いたり、話したりすることができる。</p>	<p>・ミニテスト、タブレットのドリル学習やタイピング練習の時間を確保し、活用する。</p> <p>・大事な部分、問われていることなどの観点において自分で印やアンダーラインをつける習慣を身につける。</p> <p>・SWPBSと関連付けて、学年に応じた聞き方や話す力・書く力を高める。</p>			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○話をしっかり聞いたり、自分の考えを伝えたりすることが身に付きつつある。</p> <p>○情報を集めたり、まとめたりすることにタブレットを意欲的に活用しようとしている。</p> <p>●課題解決について必要な情報を選び、自分の考えをまとめたり、根拠を明らかにして書いたり話したりすることが不十分である。</p>	<p>・文章に対する感想や意見を、条件に合わせてまとめて書くことができる。</p> <p>・自分の考えを理由や根拠をもとにしたり、必要な情報を活用したりして、相手に伝えることができる。</p> <p>・自分の考えとの共通点や相違点を見つけながら友達の意見を聞き、考えを深めることができる。</p>	<p>・文章を要約することや自分の思いや考えを条件に合わせて表現する機会を増やす。</p> <p>・ペア学習やグループ学習の機会を設けたり、タブレットやホワイトボード等を効果的に活用したりして、発表や話し合いができるようにする。</p> <p>・話し合いが深まるように「話し合いの手引き」を継続して活用する。</p> <p>・「ICTスキル習得体系表」をもとに、学年に応じたスキルや情報モラルを身につけさせ、必要な情報を自分で選択し、自分に合った方法で発表できるようにする。</p>			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○学習の仕方など見通しがつくと、自分の考えをもって進んで取り組む。</p> <p>○時間や機会を設けることで読書に親しむ児童が増えてきている。</p> <p>●自らが課題を設定し、粘り強く取り組むことが十分ではない。</p> <p>●発達段階に応じた内容の読書に興味をもてていない。</p>	<p>・自分のめあてをもち、学ぶ楽しさを感じながら課題解決に粘り強く取り組むことができる。</p> <p>・自分の学習状況を振り返ったり、互いの学びを認め合ったりして、次の学習への意欲をもつことができる。</p> <p>・自分が読みたい本を進んで読み、感想をもつことができる。</p>	<p>・振り返りの時間を確保し、視点や書き出しの言葉を学年に応じて示し記述させ、よい手本を全体で共有し、次の学習につなげる。</p> <p>・自分たちの言葉を使って学習の内容をまとめるようにする。</p> <p>・「学びのサポート」を使い、学習や読書への意欲を高める取り組みを家庭と連携して進める。</p> <p>・タブレットを活用し、個に応じた主体的な学習を進めるため、賞賛やフィードバックを図る。</p>			

令和6年度 学力向上ロードマップ

